

《以下、問5、問6の設問は、問1で「5.医療法人」、「7.その他」と回答した医療機関のみお答えください。》

貴院が設置する（貴院に実質的に付設されている）障害児者に係る事業所、および精神保健福祉士の配置状況と配置人数についてお聞きます。

問5-1 貴院では、障害児者に係る事業所を設置していますか（実質的に付設されている事業所を含む）。該当するもの一つに○をつけてください。

1. 設置していない → 問6-1へお進みください。

2. 設置している → 問5-2へお進みください。

問5-2 貴院が設置する（貴院に実質的に付設されている）障害児者に係る事業所、および精神保健福祉士の配置状況と配置人数について、以下をお答えください。

*医療機関より出向して当該事業所に従事している精神保健福祉士を含めてお答えください。

医療機関の 機能・病棟	設置の 有無 (あてはまる ものに○)	実施数 (実施していない場合は、 0(ゼロ)を記入)	精神保健福祉士の 専従、その他 での配置状況 (あてはまるものに○)	精神保健福祉士 の配置人数 (配置していない場合は、 0(ゼロ)を記入)
1 生活介護	有・無	_____ヶ所	専従/その他 /配置なし	_____人
2 共同生活介護および 共同生活援助	有・無	_____ヶ所	専従/その他 /配置なし	_____人
3 自立訓練	有・無	_____ヶ所	専従/その他 /配置なし	_____人
4 就労移行支援	有・無	_____ヶ所	専従/その他 /配置なし	_____人
5 就労継続支援	有・無	_____ヶ所	専従/その他 /配置なし	_____人
6 障害者指定特定相談 支援事業	有・無	_____ヶ所	専従/その他 /配置なし	_____人
7 障害者指定一般相談 支援事業 (みなし事業を含む)	有・無	_____ヶ所	専従/その他 /配置なし	_____人
8 障害児相談支援事業	有・無	_____ヶ所	専従/その他 /配置なし	_____人
9 地域活動支援センター	有・無	_____ヶ所	専従/その他 /配置なし	_____人
10 福祉ホーム	有・無	_____ヶ所	専従/その他 /配置なし	_____人
11 その他 ^{注1)} [_____]	有・無	_____ヶ所	専従/その他 /配置なし	_____人

注1) 例えば、障害者支援施設、施設入所支援、居宅介護、短期入所、など

貴院が設置する（貴院に実質的に付設されている）高齢者に係る施設・事業所、および精神保健福祉士の配置状況と配置人数についてお聞きします。

問6-1 貴院は、高齢者に係る施設・事業所を設置していますか（実質的に付設されている施設・事業所を含む）。該当するもの一つに○をつけてください。

1. 設置していない → 問7へお進みください。
2. 設置している → 問6-2へお進みください。

問6-2 貴院が設置する（貴院に実質的に付設されている）高齢者に係る施設・事業所、および精神保健福祉士の配置状況と配置人数について、以下をお答えください。

*医療機関より出向して当該事業所に従事している精神保健福祉士を含めてお答えください。

医療機関の機能・病棟	設置の有無 (あてはまるものに○)	実施数 (実施していない場合は、0(ゼロ)を記入)	精神保健福祉士の専従、その他の配置状況 (あてはまるものに○)	精神保健福祉士の配置人数 (配置していない場合は、0(ゼロ)を記入)
1 地域包括支援センター	有・無	_____ヶ所	専従/その他 /配置なし	_____人
2 介護老人福祉施設	有・無	_____ヶ所	専従/その他 /配置なし	_____人
3 介護老人保健施設	有・無	_____ヶ所	専従/その他 /配置なし	_____人
4 介護療養型医療施設	有・無	_____ヶ所	専従/その他 /配置なし	_____人
5 認知症対応型共同生活介護 (認知症グループホーム)	有・無	_____ヶ所	専従/その他 /配置なし	_____人
6 訪問介護	有・無	_____ヶ所	専従/その他 /配置なし	_____人
7 訪問看護	有・無	_____ヶ所	専従/その他 /配置なし	_____人
8 訪問リハビリテーション	有・無	_____ヶ所	専従/その他 /配置なし	_____人
9 通所介護(デイサービス)	有・無	_____ヶ所	専従/その他 /配置なし	_____人
10 通所リハビリテーション (デイケア)	有・無	_____ヶ所	専従/その他 /配置なし	_____人
11 短期入所生活介護 (ショートステイ)	有・無	_____ヶ所	専従/その他 /配置なし	_____人
12 短期入所療養介護 (医療型ショートステイ)	有・無	_____ヶ所	専従/その他 /配置なし	_____人
13 小規模多機能型居宅介護	有・無	_____ヶ所	専従/その他 /配置なし	_____人

14 居宅介護支援	有・無	_____ヶ所	専従/その他 /配置なし	_____人
15 その他 [_____]	有・無	_____ヶ所	専従/その他 /配置なし	_____人

問7 貴院の精神科に平成24年6月の1か月間従事している職員数をご記入ください。

*該当するものが無い場合には「0」（ゼロ）をご記入ください。

1	医師	常勤換算人数 ^{注2)} <small>(小数点第一位まで)</small>
	1) 精神保健指定医	. 人
	2) 精神保健指定医以外の精神科医	. 人
	3) 精神科以外の医師	. 人
2	看護師・准看護師	. 人
3	看護補助者	. 人
4	ソーシャルワーカー	. 人
	1) ソーシャルワーカーのうち、精神保健福祉士資格所持者	. 人
	2) その他の資格者	. 人
5	作業療法士	. 人
6	臨床心理技術者	. 人

注2) 貴院の1週間の所定労働時間を基本とし、下記のように常勤換算して小数点第一位まで（小数点第二位を切り上げ）をご記入ください。

例：1週間の通常の勤務時間が40時間の病院で、週5日（各日8時間）勤務の看護師が10人と、週4日（各日5時間）勤務の看護師が1人いる場合

$$\text{常勤換算看護師数} = (5日 \times 8時間 \times 10人 + 4日 \times 5時間 \times 1人) \div 40時間 = 10.5人$$

【貴院における保健福祉サービスの概況についてお聞きします】

問8-1 貴院では、相談支援を担当する専門部署^{注3)}を設置していますか。

該当するもの一つに○をつけてください。

1 設置している (⇒問8-2、問8-3へ)	2 設置していない (⇒問9-1へ)
------------------------	--------------------

問8-2 設置している部署の名称をご記入ください

[_____]

問8-3 平成24年6月の1か月間に当該部署に従事している職員数をご記入ください。

	専 従	その他
1 医 師	人	人
2 看護師・准看護師	人	人
3 ソーシャルワーカー	人	人
(内、精神保健福祉士)	人	人

4 臨床心理技術者	人	人
5 その他	人	人

注3)「相談支援を担当する専門部署」とは、医療相談室、社会療法科、リハビリ部など、入院患者および外来患者に対して退院、療養生活、社会生活にかんする相談、助言、指導を実施することを専門とする部署のことをいいます。

問9-1 あらためてお聞きします。

貴院の精神科デイケアについて該当するもの一つに○をつけてください。

1 届出あり (⇒問9-2へ)	2 届出なし (⇒問10へ)
-----------------	----------------

問9-2 平成24年6月の1か月間に当該部署に従事している職員数をご記入ください。

	専 従	その他
1 医 師	人	人
2 看護師・准看護師	人	人
3 ソーシャルワーカー	人	人
(内、精神保健福祉士)	人	人
4 臨床心理技術者	人	人
5 作業療法士	人	人
6 看護補助者	人	人
7 その他	人	人

問10-1 あらためてお聞きします。

貴院の訪問看護について該当するもの一つに○をつけてください。

1 実施している (⇒問10-2、問10-3へ)	2 実施していない (⇒問11へ)
--------------------------	-------------------

問10-2 平成24年6月の1か月間に訪問看護に従事している職員数をご記入ください。

	専 従	その他
1 看護師・准看護師	人	人
2 ソーシャルワーカー	人	人
(内、精神保健福祉士)	人	人
3 臨床心理技術者	人	人
4 作業療法士	人	人
5 その他	人	人

問10-3 貴院で訪問看護を担当する部署についてお聞きします。

該当するものすべてに○をつけてください。

1 院内の訪問看護部門	4 外来
2 併設する訪問看護ステーション	5 精神科デイケア

病床利用率＝4月～6月の在院患者延べ数／（月間日数×月末病床数）の4月～6月の合計

注5) 平均在院日数は、平成24年4月～6月のそれぞれ3カ月の平均在院日数をご記入ください。

なお、【別掲】については、当該特定入院料の届出病床に入院した全ての患者（算定要件に該当しない患者を含む）を基に算出してください。

平均在院日数＝4月～6月の在院患者延べ数／（4～6月の新入院患者数＋4～6月の退院患者数）×0.5

問13 平成23年度における貴院の「精神科地域移行実施加算」届出の有無についてお聞きします。該当するものに○をしてください。

1 届出あり	2 届出なし
--------	--------

問14 病院全体の退院患者の動態についてお聞きします。該当する人数をご記入ください。

1) 平成22年1月2日以降に入院期間が1年以上であった患者のうち、平成22年1月から12月の1年間で退院した患者の数	人
2) 平成22年1月2日以降に入院期間が5年以上であった患者のうち、平成22年1月から12月の1年間で退院した患者の数	人
3) 平成23年1月1日時点で入院期間が1年以上であった患者のうち、平成23年1月から12月の1年間で退院した患者の数	人
4) 平成23年1月1日時点で入院期間が5年以上であった患者のうち、平成23年1月から12月の1年間で退院した患者の数	人
5) 平成22年1月2日以降に入院期間が1年以上となった患者の数	人
6) 平成22年1月2日以降に入院期間が5年以上となった患者の数	人

ご協力ありがとうございました。

なお、今回ご記入いただきました内容に基づき、今後、聞き取り調査や更なるアンケート調査をお願いする場合がございます。

その際には、お手数ですが、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

調査票 A

平成 24 年度厚生労働科学研究障害者対策総合研究事業（精神障害分野）
精神保健福祉士の活動評価及び介入方法の開発と普及に関する研究
精神科医療機関における精神保健福祉士の業務実態に関する研究

精神科外来に係る 精神保健福祉士の業務の実態調査 調査票

この調査票は、「基礎調査票」の問4の回答で、「8 精神科外来」を1回以上選択した医療機関が回答してください。

この調査票は、「精神科外来」に専従、もしくはその他の就業形態（専任、兼務等）で従事する精神保健福祉士が回答してください。

* 精神科外来には、精神保健福祉士の配置基準はありませんが、医療機関独自の人員配置や当該病棟での精神保健福祉士の業務内容について把握するために、調査を行っています。

[ご回答いただく前に、必ずお読みください。]

1. この調査では、就業形態を「専従」、「その他」と区別します。
「専従」、「その他」の区別は、次のとおりです。

<p>「<u>専従</u>」：専らその職務に従事し、他の職務に従事しないことをいいます。 「<u>その他</u>」：複数の職務に従事することをいいます（専任、兼務など）。</p>

2. 特に指定がある場合を除いて、平成 24 年 6 月末日現在の状況についてお答えください。

3. 数値もしくは数字を記入する設問で、該当するもの・施設等が無い場合には「0」（ゼロ）をご記入ください。

4. 特に指定がある場合を除いて、全ての設問にお答えください。

[本調査票のご記入日、ご記入者について下表にご記入ください。]

機 関 名	
調査票ご記入日	平成 2 4 年 () 月 () 日
ご記入担当者氏名	
ご記入者役職名	
連絡先電話番号	
連絡先 E メール	

問1 平成24年6月の1か月間に貴院の精神科外来に従事する精神保健福祉士の人数をご記入ください。*該当するものが無い場合には、「0(ゼロ)」を記入してください。

	専 従	その他
精神保健福祉士	人	人

問2 平成24年6月の各1か月間の貴院の精神科外来患者の状況について、それぞれ該当する人数を実人数でご記入ください。

*なお、主たる疾患①～⑫の合計、年齢階層①～⑤の合計は、最上段の「精神科外来の外来患者総数」と同じ数値になるようにしてください。

精神科外来の外来患者総数		人
主 た る 疾 患	①症状性を含む器質性精神障害	人
	②精神作用物質による精神及び行動の障害	人
	③統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	人
	④気分〔感情〕障害	人
	⑤神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	人
	⑥生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群	人
	⑦成人のパーソナリティ及び行動の障害	人
	⑧精神遅滞（知的障害）	人
	⑨心理的発達の障害	人
	⑩小児期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害及び特定不能の障害	人
	⑪てんかん	人
	⑫その他	人
年 齢 階 層 別	①20歳未満	人
	②20歳以上40歳未満	人
	③40歳以上65歳未満	人
	④65歳以上75歳未満	人
	⑤75歳以上	人

問3 精神科外来に従事する精神保健福祉士の数について、国家資格取得後の相談支援業務への従業年数別に記入してください。

*平成24年6月末日現在でお答えください。また、当該医療機関、精神科外来以外での従業年数を含めて年数を算定してください。

精神保健福祉士国家資格取得後の相談支援業務への従業年数	
① 1年未満	人
② 1年以上3年未満	人
③ 3年以上5年未満	人
④ 5年以上10年未満	人
⑤ 10年以上	人

- 問4 貴院の外来診療機能におけるサービスについてお聞きします。
利用者数は、平成24年6月1か月間の利用延べ人数をご記入ください。

サービスメニュー	利用者数
① 受療相談	人
② 精神科デイケア	人
③ 精神科ナイトケア	人
④ 精神科デイナイトケア	人
⑤ 精神科ショートケア	人
⑥ 集団精神療法	人
⑦ 就労支援プログラム	人
⑧ 家族相談	人
⑨ 家族心理教育	人
⑩ 精神科訪問看護	人
⑪ その他 []	人

- 問5 精神科外来に従事する精神保健福祉士の支援に係る業務実態（支援の対象、支援業務の内容・方法と頻度）についてお聞きします。
平成24年6月の1か月間の状況についてお答えください。

* 回答欄は、次のページにあります。

** 設問に記した業務の頻度は、以下を基準にお答えください。

[平成24年6月の1か月間に実施した業務の頻度について]

- 4：とても多い ：勤務日において、毎日、当該業務を実施した。
3：多い ：勤務日において、2日に1回程度、当該業務を実施した。
2：あまり多くない ：勤務日において、7～10日に1回程度、当該業務を実施した。
1：多くない ：勤務日において、8日に1回程度、もしくはそれ以下の頻度で当該業務を実施した。あるいは、全く実施しなかった。

問 5-1 平成 24 年 6 月 1 か月間の患者本人を対象とした支援に係る業務について
お聞きます。各設問、該当する数字一つに○をしてください。

業務内容	4: とても 多い	3: 多い	2: あまり 多くない	1: 多くない
① 受診・受療に至る相談援助（面接）	4	3	2	1
② 受診・受療に至る相談援助（電話）	4	3	2	1
③ 受診・受療に至る相談援助（訪問）	4	3	2	1
④ 初診時インテーク面接	4	3	2	1
⑤ 病状や障害に関する相談援助（面接）	4	3	2	1
⑥ 病状や障害に関する相談援助（電話）	4	3	2	1
⑦ 病状や障害に関する相談援助（訪問）	4	3	2	1
⑧ 経済的な支援のための制度等の 情報提供や利用支援（面接）	4	3	2	1
⑨ 経済的な支援のための制度等の 情報提供や利用支援（電話）	4	3	2	1
⑩ 経済的な支援のための制度等の 情報提供や利用支援（訪問）	4	3	2	1
⑪ 日中活動や福祉サービスに関する 情報提供や利用支援（面接）	4	3	2	1
⑫ 日中活動や福祉サービスに関する 情報提供や利用支援（電話）	4	3	2	1
⑬ 日中活動や福祉サービスに関する 情報提供や利用支援（訪問）	4	3	2	1
⑭ 家族との関係に関する相談援助（面接）	4	3	2	1
⑮ 家族との関係に関する相談援助（電話）	4	3	2	1
⑯ 家族との関係に関する相談援助（訪問）	4	3	2	1
⑰ 居住に関する支援	4	3	2	1
⑱ 入院に向けての支援	4	3	2	1

問 5-2 平成 24 年 6 月 1 か月間の患者の家族を対象とした支援に係る業務について
お聞きします。各設問、該当する数字一つに○をしてください。

業務内容	4: とても 多い	3: 多い	2: あまり 多くない	1: 多くない
① 受診・受療に至る相談援助（面接）	4	3	2	1
② 受診・受療に至る相談援助（電話）	4	3	2	1
③ 受診・受療に至る相談援助（訪問）	4	3	2	1
④ 初診時インテーク面接	4	3	2	1
⑤ 病状や障害に関する相談援助（面接）	4	3	2	1
⑥ 病状や障害に関する相談援助（電話）	4	3	2	1
⑦ 病状や障害に関する相談援助（訪問）	4	3	2	1
⑧ 経済的な支援のための制度等の 情報提供や利用支援（面接）	4	3	2	1
⑨ 経済的な支援のための制度等の 情報提供や利用支援（電話）	4	3	2	1
⑩ 経済的な支援のための制度等の 情報提供や利用支援（訪問）	4	3	2	1
⑪ 日中活動や福祉サービスに関する 情報提供や利用支援（面接）	4	3	2	1
⑫ 日中活動や福祉サービスに関する 情報提供や利用支援（電話）	4	3	2	1
⑬ 日中活動や福祉サービスに関する 情報提供や利用支援（訪問）	4	3	2	1
⑭ 本人との関係に関する相談援助（面接）	4	3	2	1
⑮ 本人との関係に関する相談援助（電話）	4	3	2	1
⑯ 本人との関係に関する相談援助（訪問）	4	3	2	1
⑰ 本人の居住に関する支援	4	3	2	1
⑱ 本人の入院に向けての支援	4	3	2	1

問 5-3 平成 24 年 6 月 1 か月間の関係職種ならびに関係機関との連絡調整に係る業務についてお聞きします。各設問、該当する数字一つに○をしてください。

業務内容	4: とても 多い	3: 多い	2: あまり 多くない	1: 多くない
①地域の関係者とのケア会議	4	3	2	1
②医療機関内のケアカンファレンス	4	3	2	1
③入院療養計画作成や入院中の患者に係る業務	4	3	2	1
④退院支援計画の作成や退院調整に係る業務	4	3	2	1

問 6 平成 24 年 6 月 1 か月間の患者本人を対象とした支援の結果についてお聞きします。設問に該当する件数をご記入ください（予定を含む）。

支援の結果（支援の結果として生じたこと）（ <u>予定を含む</u> ）	
① 生活保護の受給	人
② 障害年金の受給	人
③ 精神障害者保健福祉手帳の取得	人
④ ③以外の障害者手帳の取得	人
⑤ 介護保険、障害福祉、児童福祉に係るサービスの利用（⑥を除く）	人
⑥ 介護保険、障害福祉、児童福祉に係る施設への入所	人
⑦ 精神科病院への入院	人
⑧ 精神科病院以外の病院への入院	人
⑨ 精神科デイケアの利用	人
⑩ 就職	人
⑪ 復職	人
⑫ 就学	人
⑬ 復学	人
⑭ 就職、就学以外の活動（趣味活動、ボランティア等）の開始	人
⑮ 当事者活動（AA、断酒会、NA 等を含む）への参加	人
⑯ 家族関係の改善	人
⑰ 社会的支援体制の整備、強化	人

ご協力ありがとうございました。

なお、今回ご記入いただきました内容に基づき、今後、聞き取り調査や更なるアンケート調査をお願いする場合がございます。

その際には、お手数ですが、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

調査票B

平成 24 年度厚生労働科学研究障害者対策総合研究事業（精神障害分野）

精神保健福祉士の活動評価及び介入方法の開発と普及に関する研究

精神科医療機関における精神保健福祉士の業務実態に関する研究

精神科訪問看護・指導に係る 精神保健福祉士の業務の実態調査 調査票

この調査票は、「基礎調査票」の問4の回答で、「16 精神科訪問看護・指導（訪問看護ステーションを含む）」を1回以上選択した医療機関が回答してください。

この調査票は、「精神科訪問看護・指導（精神科訪問看護基本療養費を含む）」に専従もしくは、その他の就業形態（専任、兼務等）で従事する精神保健福祉士が回答してください。

[ご回答いただく前に、必ずお読みください。]

1. この調査において、「精神科訪問看護・指導」とは、精神科訪問看護・指導料、もしくは、精神科訪問看護基本療養費を算定する活動を示します。

2. この調査では、就業形態を「専従」、「その他」と区別します。

「専従」、「その他」の区別は、次のとおりです。

「専従」：専らその職務に従事し、他の職務に従事しないことをいいます。

「その他」：複数の職務に従事することをいいます（専任、兼務など）。

3. 特に指定がある場合を除いて、平成 24 年 6 月末日現在の状況についてお答えください。

4. 数値を記入する設問で、該当するもの・施設等が無い場合には「0」（ゼロ）をご記入ください。

5. 特に指定がある場合を除いて、全ての設問にお答えください。

[本調査票のご記入日、ご記入者について下表にご記入ください。]

機 関 名	
調査票ご記入日	平成 2 4 年 () 月 () 日
ご記入担当者氏名	
ご記入者役職名	
連絡先電話番号	
連絡先 E メール	

問1から問8までは、「精神科訪問看護・指導料」（精神科医療機関からの精神科訪問看護・指導）に係る活動についてお聞きします。

訪問看護ステーション（精神科訪問看護基本療養費）に係る訪問看護については、問9以降でお聞きします。

【精神科訪問看護・指導料について】

- ・精神科訪問看護・指導料Ⅰ：
居宅において、個別に訪問看護・指導を実施した場合に算定する診療料
- ・精神科訪問看護・指導料Ⅱ：
グループホーム、施設等において、複数の患者等に対して訪問看護・指導を実施した場合に算定する診療料
- ・精神科訪問看護・指導料Ⅲ：
アパート等の同一建物に居住している複数の患者に対して訪問看護・指導を実施した場合に算定する診療料

問 1 平成 24 年 6 月の 1 か月間に貴院の精神科訪問看護・指導に従事する精神保健福祉士の人数をご記入ください。

*該当するものが無い場合には、「0 (ゼロ)」を記入してください。

	専 従	その他
精神保健福祉士	人	人

問 2 平成 24 年 6 月の 1 か月間の貴院の精神科訪問看護・指導の実施状況について、それぞれ該当する患者数を実人数でご記入ください。

*なお、主たる疾患①～⑫の合計、年齢階層①～⑤の合計は、最上段の「精神科訪問看護・指導を実施した患者総数」と同じ数値になるようにしてください。

精神科訪問看護・指導を実施した患者総数		人
主 た る 疾 患	①症状性を含む器質性精神障害	人
	②精神作用物質による精神及び行動の障害	人
	③統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	人
	④気分 [感情] 障害	人
	⑤神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	人
	⑥生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群	人
	⑦成人のパーソナリティ及び行動の障害	人
	⑧精神遅滞 (知的障害)	人
	⑨心理的発達の障害	人
	⑩小児期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害及び特定不能の障害	人
	⑪てんかん	人
	⑫その他	人
年 齢 階 層 別	①20 歳未満	人
	②20 歳以上 40 歳未満	人
	③40 歳以上 65 歳未満	人
	④65 歳以上 75 歳未満	人
	⑤75 歳以上	人

問 3 平成 23 年度の 1 年間における、貴院の「精神科訪問看護・指導料 I」の算定件数と当該診療報酬に係る加算の算定件数をご記入ください。

*「精神科訪問看護・指導料 I」に係る加算を算定していない場合には、「0 (ゼロ)」をご記入ください。

1) 平成 23 年度の 1 年間における「精神科訪問看護・指導料 I」の算定件数		件
2) 平成 23 年度の 1 年間における「精神科訪問看護・指導料 I」に係る加算の算定件数	①複数名 訪問看護加算	件
	②長時間 訪問看護加算	件

問4 平成24年6月の1か月間における、貴院の「精神科訪問看護・指導料Ⅰ・Ⅲ」と当該診療報酬に係る加算の算定件数をご記入ください。

【報酬の算定件数】

		30分未満	30分以上
1) 平成24年6月における「精神科訪問看護・指導料Ⅰ」の算定件数	週3回まで	件	件
	週4回以上	件	件
2) 平成24年6月における「精神科訪問看護・指導料Ⅰ」のうち、患者の急性増悪により精神科訪問看護・指導を実施した件数（再掲）。		件	件
3) 平成24年6月における「精神科訪問看護・指導料Ⅲ」の算定件数	週3回まで	件	件
	週4回以上	件	件

【加算の算定件数】

1) 長時間精神科訪問看護・指導（指導）加算	件
2) 複数名訪問看護加算①（+精神保健福祉士）	件
3) 複数名訪問看護加算①（+精神保健福祉士以外の職員）	件
4) 複数名訪問看護加算②（+准看護師）	件
5) 複数名訪問看護加算③（+看護補助者）	件
6) 精神科緊急訪問看護加算	件
7) 夜間・早朝看護加算	件
8) 深夜訪問看護加算	件

問5 平成23年度の1年間における、貴院の「精神科訪問看護・指導料Ⅱ」の算定件数と当該診療報酬に係る加算の算定件数をご記入ください。

*「精神科訪問看護・指導料Ⅱ」及び加算を算定していない場合には、「0（ゼロ）」をご記入ください。

平成23年の1年間における「精神科訪問看護・指導料Ⅱ」の算定件数	件
----------------------------------	---

問6 平成24年6月の1か月間に貴院の「精神科訪問看護・指導料Ⅱ」の算定件数をご記入ください。

平成24年6月の1か月間における「精神科訪問看護・指導料Ⅱ」の算定件数	件
-------------------------------------	---

問7 平成24年6月の1か月間に、精神保健福祉士(専従、その他)が、「精神科訪問看護・指導料Ⅰ・Ⅲ」に係る活動の際に、①から⑪に掲げる支援を実施した割合について、該当する数字一つに○をつけてください。

*「支援を実施した割合」は、以下を基準にお答えください。

4. 多い : ほぼ全員の訪問患者に対して行っている
 3. やや多い : 訪問患者のうち、5～8割の患者に対して行っている
 2. あまり多くない : 訪問患者のうち、5割以下の患者に対して行っている
 1. 多くない : ほとんどの訪問患者に対して行っていない

業務内容	4: 多い	3: やや 多い	2: あまり 多くない	1: 多く ない
① 日常生活の維持／生活技能の獲得・拡大(食生活・活動・整容・安全確保等の見守りおよび生活技能の維持向上のためのケア)	4	3	2	1
② 対人関係の維持・構築(コミュニケーション能力の維持向上の援助、他者との関係性への援助)	4	3	2	1
③ 家族関係の調整(家族に対する援助、家族との関係性に関する援助)	4	3	2	1
④ 精神症状の悪化や増悪を防ぐ(症状のモニタリング、症状安定・改善のためのケア、服薬・通院継続のための関わり)	4	3	2	1
⑤ 身体症状の発症や進行を防ぐ(身体症状・合併症のモニタリング、生活習慣に関する助言・指導、自己管理能力を高める援助)	4	3	2	1
⑥ 公共施設利用の援助(電車、銀行、役所などの利用に対する援助)	4	3	2	1
⑦ 社会制度・サービス・資源の活用(社会制度・サービスの利用に関する情報提供、利用のための援助)	4	3	2	1
⑧ 経済的な課題や金銭管理に関する援助(生活費の収支管理の援助、日常生活自立支援事業の利用援助、財産管理のための援助)	4	3	2	1
⑨ 住環境等に関する援助(住まい等に関する援助)	4	3	2	1
⑩ 仕事や学校に関する援助(社会活動に関する調整・援助)	4	3	2	1
⑪ 対象者のエンパワーメント(自己効力感を高める、コントロール感を高める、肯定的フィードバック)	4	3	2	1

問8 平成24年6月の1か月間に、精神保健福祉士(専従・その他)が、「精神科訪問看護・指導料Ⅱ」に係る活動の際に、①から⑪に掲げる支援を実施した割合について、該当する数字一つに○をつけてください。

*「支援を実施した割合」は、以下を基準にお答えください。

4. 多い : ほぼ全員の訪問患者に対して行っている
 3. やや多い : 訪問患者のうち、5～8割の患者に対して行っている
 2. あまり多くない : 訪問患者のうち、5割以下の患者に対して行っている
 1. 多くない : ほとんどの訪問患者に対して行っていない

業務内容	4: 多い	3: やや 多い	2: あまり 多くない	1: 多く ない
① 日常生活の維持/生活技能の獲得・拡大(食生活・活動・整容・安全確保等の見守りおよび生活技能の維持向上のためのケア)	4	3	2	1
② 対人関係の維持・構築(コミュニケーション能力の維持向上の援助、他者との関係性への援助)	4	3	2	1
③ 家族関係の調整(家族に対する援助、家族との関係性に関する援助)	4	3	2	1
④ 精神症状の悪化や増悪を防ぐ(症状のモニタリング、症状安定・改善のためのケア、服薬・通院継続のための関わり)	4	3	2	1
⑤ 身体症状の発症や進行を防ぐ(身体症状・合併症のモニタリング、生活習慣に関する助言・指導、自己管理能力を高める援助)	4	3	2	1
⑥ 公共施設利用の援助(電車、銀行、役所などの利用に対する援助)	4	3	2	1
⑦ 社会制度・サービス・資源の活用(社会制度・サービスの利用に関する情報提供、利用のための援助)	4	3	2	1
⑧ 経済的な課題や金銭管理に関する援助(生活費の収支管理の援助、日常生活自立支援事業の利用援助、財産管理のための援助)	4	3	2	1
⑨ 住環境等に関する援助(住まい等に関する援助)	4	3	2	1
⑩ 仕事や学校に関する援助(社会活動に関する調整・援助)	4	3	2	1
⑪ 対象者のエンパワーメント(自己効力感を高める、コントロール感を高める、肯定的フィードバック)	4	3	2	1